

Aグループ テーマ「ガーナの児童労働問題の解決のため、
私たちはどのように行動すればいいのか」

討論結果←

都会だけではなくて、全国的に大企業スーパー、コンビニを中心にフェアトレード商品を置き、もっと広める
国際に関する部活や団体を作って、広める
ネット上で広める
知る機会を作る
ほかの学校とも、協力する
←中学の同級生と話す
自分の生活の見直し→ex 買っているもの

Bグループ テーマ「ガーナの児童労働問題の解決のため、
私たちはどのように行動すればいいのか」

討論結果

- ・ 今日だけで終わらせない！
ガーナの労働環境について知ってもらう + 自分も更に知っていく
まず周りの人に知ってもらう！（発信する）
- ・ 身近な人から伝えていく → 広げる
⇒ 問題を知っている状況を当たり前にする
- ・ SNSなどを駆使してもう一回バレンタイン一揆(現代版)にチャレンジ
フェアトレード商品購入でポイント
ネットでも買えるようにする
- ・ 興味があることを大切に。新しい活動に対しての偏見をなくす

Cグループ テーマ「ガーナの児童労働問題の解決のため、
私たちはどのように行動すればいいのか」

討論結果

- ・ 学校で今日学んだことを伝える場を作らずは一人でも多くの人に知ってもらおう機会を作る
- ・ フェアトレードのチョコをまずは自分から買う
- ・ 自分からフェアトレードについて調べてもらう
→ より印象に残るようになる
- ・ 福祉委員会の仕事の一環として広める
- ・ 各学校にGIGA端末があることを活用して総合の時間に調べ学習をする

- 生徒集会、評議会などで生徒が考える時間を増やす
- 今参加している人たちでフェアトレード商品を探しに行つて学校で広める
 - 長期的にやることとして、学校全体でポスターを作り地域の電柱などに貼りにいく

この問題が広まってきたらチョコ以外の商品もフェアトレードできるように広めていく

Dグループ テーマ「ガーナの児童労働問題の解決のため、
私たちはどのように行動すればいいのか」

討論結果

自分の買う商品の選択

→生産者に支援（寄付）ができる

→児童労働がない商品を選べれる

国際交流委員会（学校の委員会活動）

→学校中の人に知らせれる

→学校規模での支援

地域の人を招く（SNS）

→多くの人に正しい情報を伝えれる

Eグループ テーマ「ガーナの児童労働問題の解決のため、
私たちはどのように行動すればいいのか」

討論結果

身近なことで

- ・フェアトレード商品を買う
物事を知ってもらう/伝える（具体例を添える）
→まずは学校から

→学校以外でも
チラシ・配布物を自分たちで(先生等に協力を仰ぐ)
PTAなどを利用して親などへ

学校でできること

- 新聞を作る(写真などをつけて具体性を)
- 全校の場(文化祭・集会)で話す
 - 校長先生から
 - 自分たちから
 - 放送・給食中に
- 委員会で募金など(UNICEFなどへ)
- 地域のフェアトレード関係の店を出店
(学校とかかわりのある店)